

## NY マーケットレポート (2015年9月2日)

NY 市場では、序盤に発表された ADP 雇用統計が市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下げる動きとなった。しかし、週末の米雇用統計を控えて積極的な売買が手控えられており、値動きは限定的となった。そして、ドル/円は終盤までレンジ内の展開が続いた。一方、インフレ見通しの低下や、ユーロ高を背景に、ECB 理事会後の定例会見で、ドラギ総裁が量的緩和策の継続を示唆する可能性を警戒する向きもあり、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、堅調な株価動向を受けて、豪ドルなどの資源国通貨や新興国通貨は堅調な動きとなった。

### 2015/9/2 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	120.08	120.44	119.23
EUR/JPY	135.16	135.80	134.94
GBP/JPY	183.70	184.29	182.50
AUD/JPY	84.35	84.72	83.65
EUR/USD	1.1258	1.1320	1.1242

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	120.18	119.70
EUR/JPY	135.38	135.06
GBP/JPY	183.73	182.82
AUD/JPY	84.35	83.75
EUR/USD	1.1295	1.1254

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18095.40	-70.29
ハンセン指数	20934.94	-250.49
上海総合	3160.17	-6.46
韓国総合指数	1915.22	+0.99
豪ASX200	5101.46	+5.05
インドSENSEX指数	25453.56	-242.88
シンガポールST指数	2878.13	-4.64

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6083.31	+24.77
仏CAC40	4554.92	+13.76
独DAX	10048.05	+32.48
ST欧州600	353.86	+0.97
西IBX35指数	9938.30	-54.50
伊FTSE MIB指数	21612.00	+160.63
南ア 全株指数	49228.77	+713.64

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.26	120.35	119.95
EUR/JPY	135.06	135.36	134.73
GBP/JPY	184.00	184.20	183.38
AUD/JPY	84.55	84.77	84.04
NZD/JPY	76.28	76.47	75.99
EUR/USD	1.1232	1.1270	1.1216
AUD/USD	0.7031	0.7049	0.7000

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16351.38	+293.03
S&P500	1948.86	+35.01
NASDAQ	4749.98	+113.88
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	13545.25	+63.35
ロシアボルサ指数	42969.93	+58.42
ブラジルボベスパ指数	46463.96	+986.90

#### 9/3 経済指標スケジュール

08:30	【豪】8月AiGサービス業指数
10:30	【豪】7月小売売上高
10:30	【豪】7月貿易収支
11:30	【香港】8月購買部景気指数
14:30	【仏】2Q ILO失業率統計
16:00	【トルコ】8月消費者物価指数
16:00	【トルコ】8月生産者物価指数
16:30	【スウェーデン】政策金利発表
16:50	～ 17:30
	【仏】【独】【欧】【英】8月非製造業PMI
18:00	【欧】7月小売売上高
18:30	【南ア】8月SACCI景況感指数
20:30	【米】8月チャレンジャー人員削減数
20:45	【欧】政策金利発表
21:30	【米】7月貿易収支
21:30	【カナダ】7月国際商品貿易
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
23:00	【米】8月ISM非製造業景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1133.60	-6.20
NY 原油	46.25	+0.84
CMEコーン	367.50	-1.50
CBOT 大豆	874.00	0.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.71%	0.71%
3年債	1.02%	1.01%
5年債	1.51%	1.49%
7年債	1.91%	1.89%
10年債	2.19%	2.16%
30年債	2.96%	2.92%

#### 9/3 主要会議・講演・その他予定

・ドラギECB総裁 定例会見

(出所: SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.11 ユーロ/円 135.31 ユーロ/ドル 1.1265

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6065.65	+7.12	ダウ 先物ミニ	16198	+111
仏 CAC40	4554.87	+13.71	S&P 500 ミニ	1928.25	+12.25
独 DAX	10038.93	+23.36	NASDAQ 100 ミニ	4186.75	+28.50

(出所: SBILM)

21:15

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米ADP雇用統計 19.0万人 (予想 20.0万人・前回 17.7万人)  
 前回発表の18.5万人から17.7万人に修正



(出所: ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ ADP 雇用統計 ▶

8月・・・7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月・・・2月  
 ADP 雇用者数 (前月比)・・・19.0・・・17.7・・・22.9・・・19.7・・・17.9・・・17.5・・・20.0  
 (万人)

【ADP 雇用統計】

ADP 雇用統計は、民間の給与計算代行サービス会社である ADP (Automatic Data Processing) 社のデータを用いて、マクロエコノミック・アドバイザーズ社が発表している雇用統計。2200 万人の支払い給与の動向に基づき算出、米国雇用統計が発表される 2 営業日前に発表されるため、米国雇用統計の結果を予想する上でよく参考にされる。



(出所: ネットダニア)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2Q 米非農業部門労働生産性 (前期比年率) 3.3% (予想 2.8%・前回 1.3%)



(出所: ブルームバーグ)

経済指標データ

≪ 非農業部門労働生産性指数 ≫

	4-6 改定	4-6 速報	1-3	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	3.3	1.3	-1.1	-2.2	3.1	2.8
生産	4.7	2.8	0.5	2.6	5.5	5.4
労働総投入量	1.4	1.5	1.6	4.9	2.3	2.5
時間あたり給与	1.8	1.8	1.1	3.4	3.2	-0.8
実質給与	-1.1	-1.1	4.2	4.2	2.0	-3.1
単位あたり労働コスト	-1.4	0.5	2.3	5.7	0.1	-3.5
単位あたり非労働コスト	7.4	4.7	-1.8	-8.1	4.1	9.5
価格指数	2.2	2.2	0.5	-0.5	1.8	1.9

(前期比、年率%)

【非農業部門労働生産性】

農業部門を除いた労働者一人当たりの生産高を示した経済指標で、企業景況や個人消費への影響が大きく、景気動向を判断する指標として注目されている。



(出所: ネットダニア)

22 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

8月シンガポール電子産業指数 49.0 (予想 49.0・前回 49.5)

8月シンガポール購買部景気指数 49.3 (予想 49.4・前回 49.7)



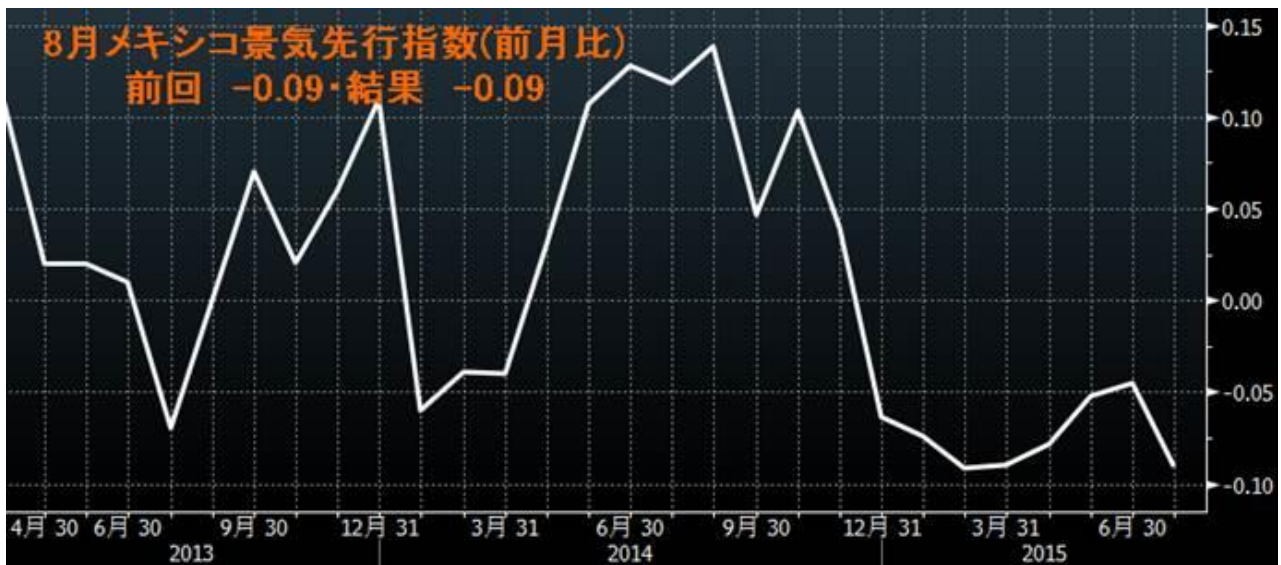


22 : 03

◀ 経済指標の結果 ▶

8月メキシコ景気先行指数(前月比) -0.09 (前回 -0.09)

前回発表の-0.05 から-0.09 に修正



(出所：ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

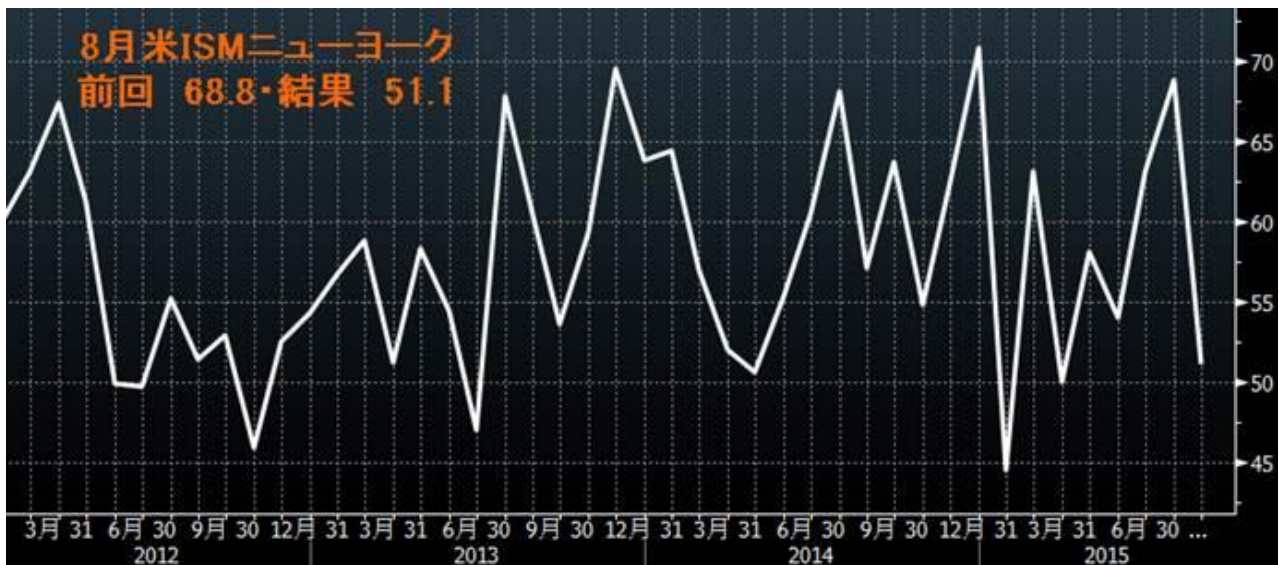
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16271.11	+212.76
ナスダック	4701.69	+65.59

(出所：SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米ISMニューヨーク 51.1 (前回 68.8)



(出所：ブルームバーグ)





◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 8月のADP雇用統計では、雇用者数が前月比で+19.0万人となり、市場予想の20.0万人を下回る結果となった。前月は+17.7万人（速報値+18.5万人）に下方修正された。建設業の雇用者は+1.7万人、製造業は+0.7万人、サービス業は+17.3万人。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+4万人、50-499人の中堅企業では+6.6万人、49人以下の小企業は+8.5万人。

(2) 米4-6月期の非農業部門労働生産性の確定値は、年率換算で前期比+3.3%となり、速報値の1.3%から2.0ポイント上方修正され、2013年10-12月期以来の大きな上昇率となった。生産の伸びが労働時間の伸びを上回り生産性を押し上げる結果となった。

①賃金の指標である単位労働コストは、前期比-1.4%となり、低下は2014年4-6月期以来。労働生産性の生産が+4.7%、労働時間は+1.4%、時間当たりの給与は+1.8%、実質給与は-1.1%。

②製造業の生産性は、前期比+2.3%で、2014年7-9月期以来の高い伸び。生産が+1.3%、労働時間は-0.9%と2014年1-3月期以来のマイナス。

(3) 7月の米製造業受注は、前月比+0.4%の4820億1600万ドルと2ヵ月連続でプラスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は-0.6%。主力の自動車・同部品や一般機械など耐久財が伸びたことで全体が押し上げられた。

①耐久財が+2.2%となり、輸送機器は+5.5%、自動車・同部品が+4.0%と2014年7月以来1年ぶりの高い伸び、民間航空機は-6.1%、国防航空機が-13.1%、一般機械が1.1%、電機・家電は+1.7%。

②資本財は+3.7%となり、国防関連を除く資本財は+1.0%、国防資本財は+27.2%と2014年4月以来の大きな増率、コア資本財は+2.1%で2ヵ月連続のプラス。

③製造業全体の出荷は0.2%、在庫は-0.1%。受注残高は+0.2%と、2014年11月以来の高水準となった。出荷に対する在庫の比率は前月から横ばいの1.35だった。

(4) CB（全米産業審議会）が発表した8月の新規のオンライン求人広告数は264万8500件で、前月の267万4700件から減少した。前年同月の266万5400件からは-0.6%となった。8月264万8500件、7月267万4700件、6月257万1900件、5月283万5000件。

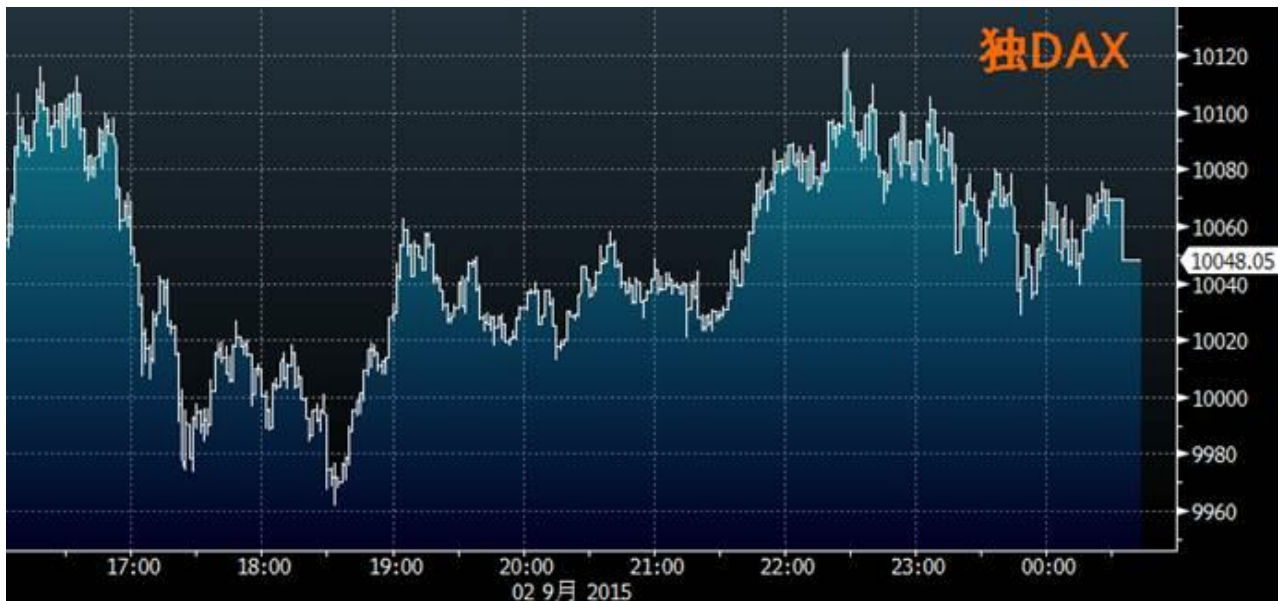
欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6083.31	+24.77
仏 CAC40	4554.92	+13.76
独 DAX	10048.05	+32.48
ストック欧州 600 指数	353.86	+0.97
ユーロファースト 300 指数	1395.70	+3.13
スペイン IBEX35 指数	9938.30	-54.50
イタリア FTSE MIB 指数	21612.00	+160.63
南ア アフリカ全株指数	49228.77	+713.64

(出所: SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、前日の大幅下落の反動で、割安感が出た銘柄を中心に買い戻しが入り、主要株価は堅調な動きとなった。また、米国の利上げが今月は見送られるとの見方なども投資家心理を支えた。





(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16159.10 (+100.75) 、S&P500 1923.82 (+9.97) ナスダック 4666.61 (+30.51)

≪ NY 債券市場 ・午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、中国経済への懸念などで前日に上昇した反動で、一旦利益を確定する売りが先行した。また、米国株の大幅反発を受けて安全資産としての需要も後退したことも圧迫要因となった。

午前の利回りは、30年債が2.95%（前日2.92%）、10年債が2.18%（2.16%）、7年債が1.91%（1.89%）、5年債が1.51%（1.49%）、3年債が1.02%（1.01%）、2年債が0.71%（0.71%）。

3 : 00

≪ 地区連銀景況報告 ≫

- ・「経済活動は大半の地区・分野で拡大を続けた。」
- ・「6地区は緩やかな成長を指摘、5地区は緩慢な成長を報告。」
- ・「大半の場合、7月の報告時から同じ成長ペースが継続。」
- ・「大半の分野の調査先は現在のペースの成長が続くと予想」
  
- ・「労働需要は大半の地区で緩まないし緩やかに伸びた」
- ・「雇用の引き締まりが賃金をやや押し上げた業種や産業も」
- ・「全地区で原材料と販売の価格は横ばいなし、ごくわずかに上昇」
- ・「製造業の活動はおおむね前向き」
  
- ・「過半数の地区の小売業の調査先が販売や売り上げの拡大継続を指摘」
- ・「大半の報告で観光は力強く、運輸業も活動拡大」
- ・「金融以外のサービス業の需要は総じて拡大」
- ・「銀行業では企業向けと消費者向けで融資残高が増加」
  
- ・「不動産は全地区でおおむね前向き、大半で住宅価格が上昇」
- ・「中古住宅販売と住宅賃貸は幅広く改善」
- ・「農業は全地区を通じてまちまち」

3 : 45

NY 金は、中心限月が前日比 6.20 ドル安の 1 オンス=1133.60 ドルで取引を終了した。

4 : 45

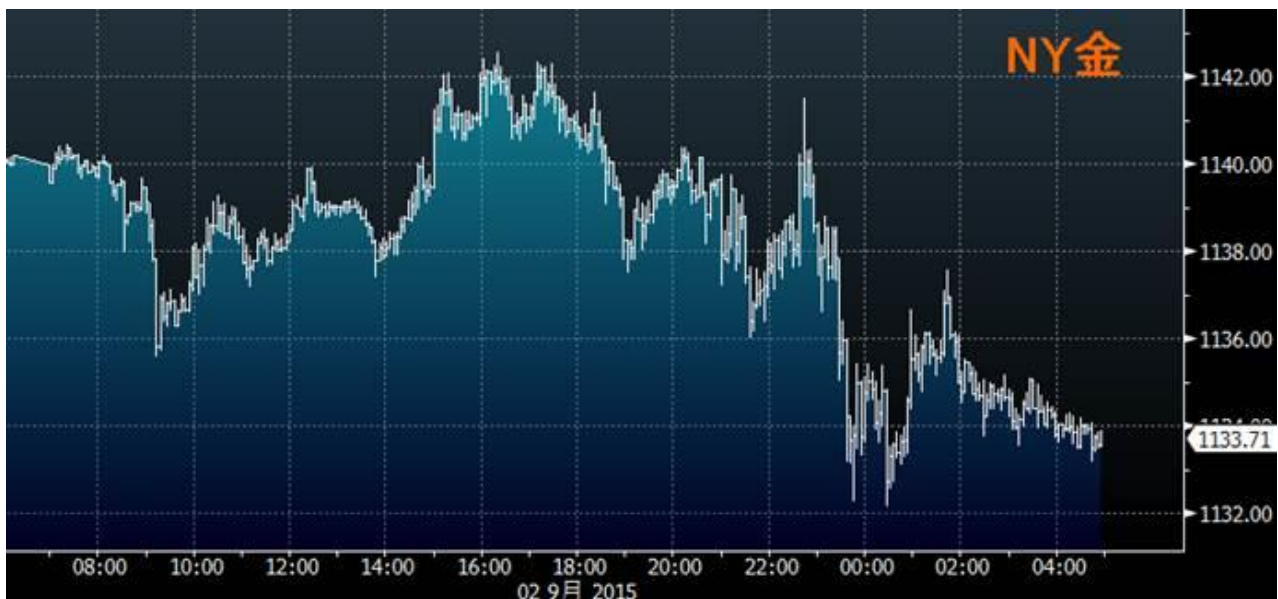
NY 原油は、中心限月が前日比 0.84 ドル高の 1 バレル=46.25 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1133.60	-6.20
NY 原油	46.25	+0.84

(出所：SBILM)

#### ◀ NY 金市場 ▶

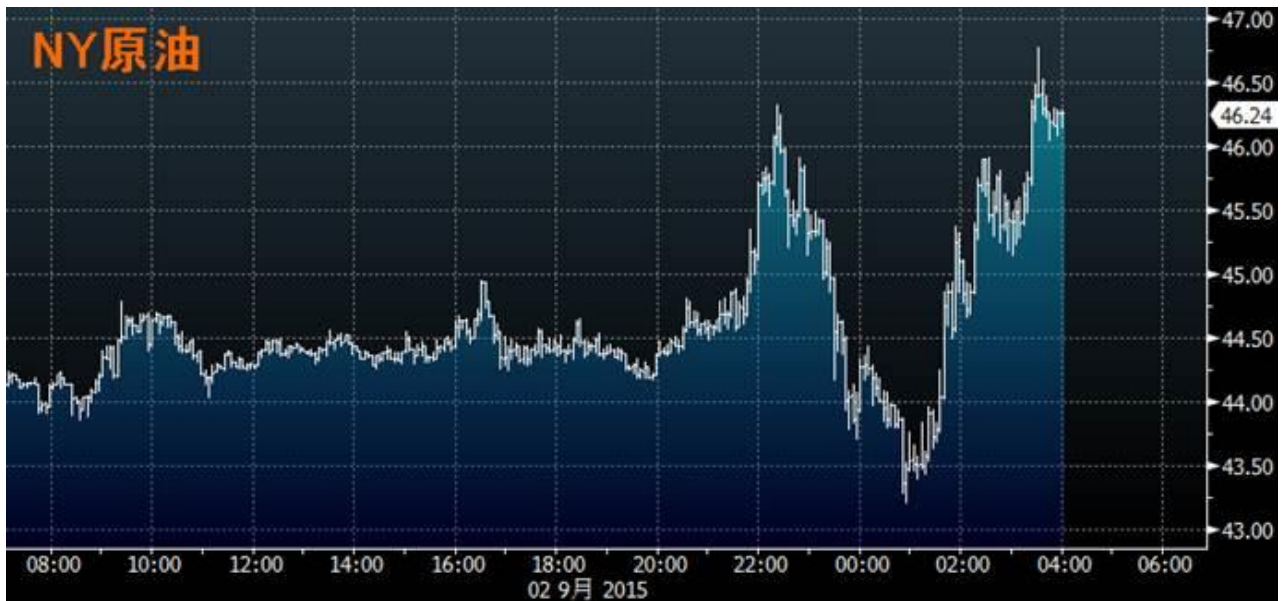
NY 金は、欧米株の反発で逃避的な買いが後退し、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドルの代替資産としての需要も弱まり、軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

#### ◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、序盤は堅調な動きとなったものの、米原油在庫の増加で需給の緩みへの懸念が強まったことや、欧米など 6 カ国とイランの核問題最終合意に対して米上院で支持が拡大との報道を受けて、イラン産原油の供給増加が意識され、一時大きく下落する動きも見られた。しかし、米国株の大幅反発で投資家心理が改善したことから買いが優勢となった。



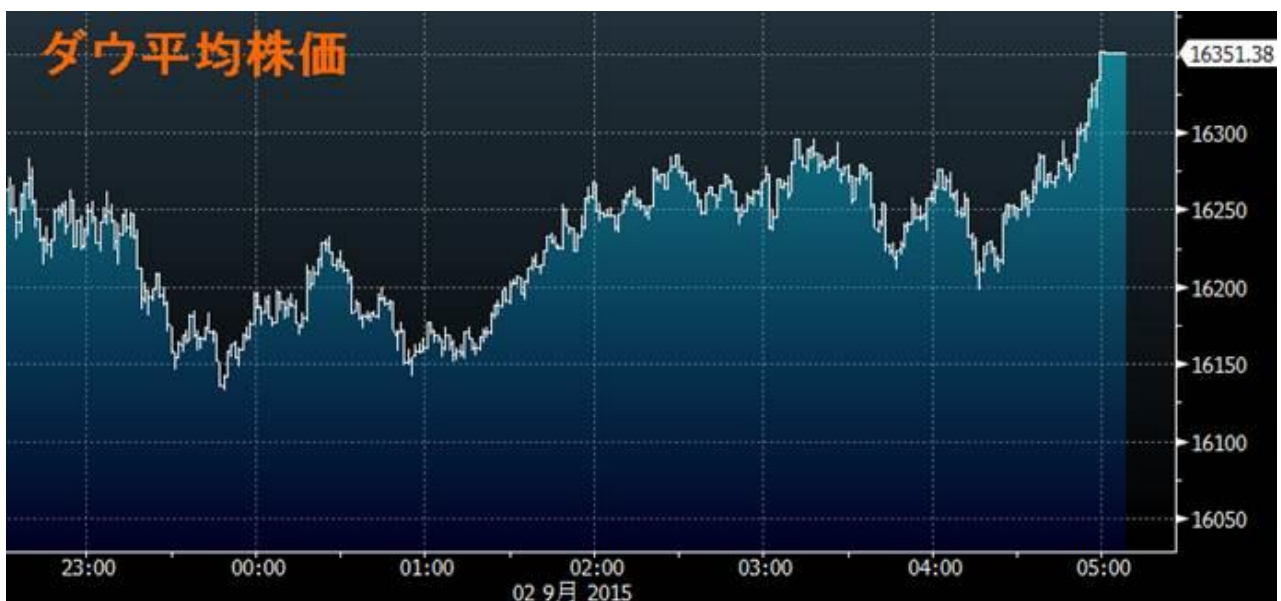
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16351.38	+293.03	16352.58	16058.35
S&P500 種	1948.86	+35.01	1948.91	1916.52
ナスダック	4749.98	+113.88	4749.98	4659.41

(出所：SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、前日に大幅下落となったことを受けて、割安感が出た銘柄を中心に買いが先行した。また、米国の利上げが今月は見送られるとの観測が出たことも下支え要因となり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、午後には一時前日比で 294 ドル高まで上昇する動きとなった。



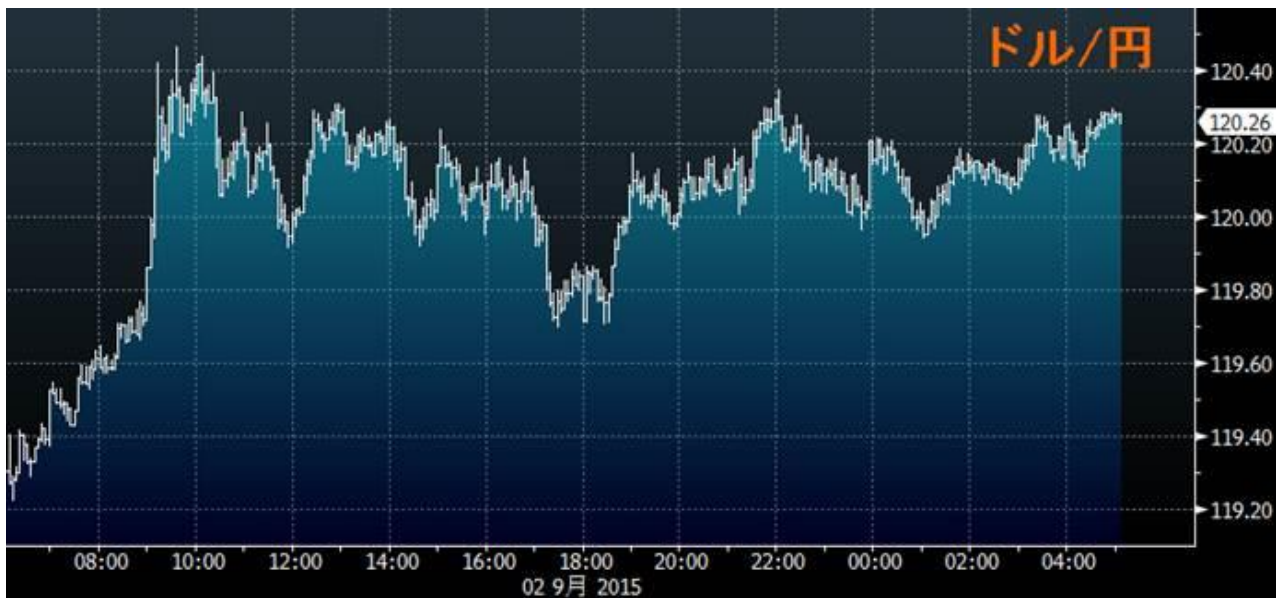
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.26	120.35	119.95
EUR/JPY	135.06	135.36	134.73
GBP/JPY	184.00	184.20	183.38
AUD/JPY	84.55	84.77	84.04
NZD/JPY	76.28	76.47	75.99
EUR/USD	1.1232	1.1270	1.1216
AUD/USD	0.7031	0.7049	0.7000

(出所：SBILM)

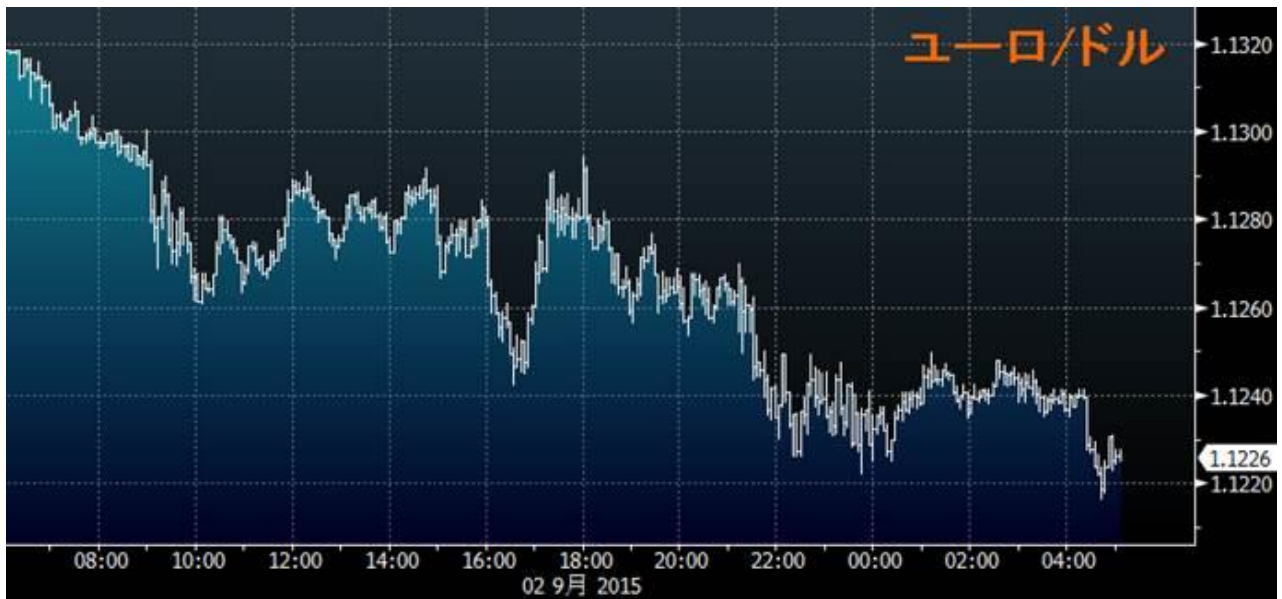
#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が市場予想を下回ったものの、下値は限定的となった。ドルは、円やユーロに対してやや方向感に乏しくレンジ内の展開が続いた。豪ドルなどの資源国通貨や、新興国通貨は、堅調な欧米の株価動向を好感し、主要通貨に対して堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)





(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。